

今野 孝嶺

希望

齊藤市政5期20年の総括は

【質】 齊藤市長は、平成18年、新能代市の初代市長に就任され、5期20年にわたり能代市政を担ってこられた。この5期20年を振り返り、どのように総括されるか。

【答】 市民と共に幸せを創る、幸福共創の基本理念の下、本市の発展に向けて精いっぱい取り組んできた。新市の一体感の醸成を図り、財政状況の改善とまちづくりの基盤を固め、産業振興や子育て支援等様々な施策を具体化し、着実に歩んでいると思っている。市民と共に種をまき、育ててきた結果、花が咲き、実を結んできている手応えを実感している。

今後の市政及び市長選挙への対応は

【質】 来年4月は、市長、市議会議員の改選期となる。厳しい時代の市政のかじ取り役を誰にするのかを決める市長選挙は市民の大きな関心事である。今後の市政及び来春の市長選挙への対応は。

【答】 現在、本市を取り巻く様々な行政課題の方向づけをすることともに、将来の発展に向けた事業を一步でも前へ進めることに全力で取り組んでいるため、次期市長選への対応については今のところ考えていない。

その他の質問事項

- 三菱商事の洋上風力発電事業撤退の影響
- 八峰町及び能代市沖の洋上風力発電事業

渡邊 正人

青松・公明党

市役所駐車場内の歩行者等の安全対策

【質】 市役所本庁舎脇には歩道が設置されているものの、さくら庭の横には歩道がなく、さくら庭の階段を使うか、歩道のない車道に出て歩く必要がある。歩行者等の安全確保が求められるが、対策は。

【答】 本庁舎駐車場の北口出入口から柳町側の南口出入口にかけて、歩道のない部分もあることから、通行する車両と歩行者がすれ違う際に危険な場合もあると認識している。そのため、正面玄関側の北口出入口に、車両に対する一時停止と徐行を促す看板を設置しているが、今後、駐車場内に危険な箇所がないか改めて点検し、必要な対策を検討する。

熊等の鳥獣による人身被害の防止

【質】 今年は春先から多くの熊等の鳥獣の目撃情報や農作物等への被害があり、人身被害の防止に地元猟友会のメンバーが大きな力を担っている。猟友会の出動要請等の状況は。

【答】 過去5か年の出動実績は、ツキノワグマ以外も含め累計で令和3年度が1350人、4年度が1453人、5年度が2201人、6年度が1512人、7年度が8月末時点で、1305人となっており、非常に増えている。市としては、引き続き、実施隊の猟友会や関係機関と連携を密にし、農作物被害の防止や住民の安全確保等に努める。

その他の質問事項

- 撤退に伴うまちなかコサクル等への影響
- 熊等の駆除に関する新指針への対応
- 観光客等に熊等の出没の注意喚起は

小野 立

市民ネットワーク
(市民の声、大河の会、能代民政会)

日本語学習活動への支援の拡充

【質】 日本社会で外国人が日本人と平和共存するには、外国人への日本語と社会習慣の教育が不可欠だ。能代でのそうした活動は、おおむねその方々の自助努力で行われてきたが、支援の拡充が必要では。

【答】 平成13年から日本語学習ふれあい交流支援事業を行い、事業の開始当初から、のしろ日本語学習会の熱意ある運営に支えられてきた。本市で生活する外国人が増加している中、従来のボランティア中心の活動は、年々厳しくなっていると伺っている。市としては、のしろ日本語学習会の御意見を伺いながら、より効果的な支援の在り方を検討していく。

障害児保育への補助の拡充

【質】 障害児保育に必要な保育士の加配に関し、市は加配1人当たり約14万円を保育所に支給しているが足元の人件費には見合っていない。保育所が子供を預けなければ親は働けない。補助拡充の考えは。

【答】 令和7年度において、本市の障害児保育に係る補助基準額は月額14万4000円と県内では高い水準にあるが、近年の賃金単価の上昇により、保育士の人件費と乖離が生じていると認識している。障がいのある子供の受入れ体制を維持し、全ての家庭が安心して保育サービスを利用できるよう、補助基準額の見直しを検討したいと考えている。

その他の質問事項

- 三菱商事連合の撤退
- 起債で市への交付税が増えること
- 国の制度を活用した二拠点生活の推進